

●クリチバ治安情報(違法賭博(スロットマシン)の差し押さえ事件)

3月31日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は3月23日から30日にかけて、軍警察及び市民警察がクリチバ市内においてスロットマシン145機(当館注:スロットマシンは、伯国において違法賭博であり、犯罪組織が関与している可能性が高い。)を押収した旨報じていますので、概要以下の通りお知らせ致します。

1. 3月30日、軍警察はクリチバ市レボウサス地区(Alferes Poli 通り、当館より徒歩15分)において18機のスロットマシンを押収した。同押収により、3月23日から30日にかけて、スロットマシン差押数は計145機に上った。

2. なお、これまでの軍警による主な押収結果は次の通り。

(1) 3月23日、セントロ地区(Pedro Ivo 通り、当館より徒歩3分)において22機押収。

(2) 3月30日、セントロ地区(Marechal Deodoro 通り、当館より徒歩2分)の12階建てアパートにおいて18機押収。セントロ地区(Monsenhor Celso 通り、当館より徒歩2分)のアパートにおいて18機押収。セントロ・シヴィク地区(Mateus Leme 通り、公官庁街、当館より徒歩20分)レンタルカー店舗において30機押収した。